



高時小だより

<教育理念>

— 高く・強く・美しく —

長浜市立高時小学校

【令和5年1月1日発行NO. 9】

HP : <http://takatoki-es.nagahama.ed.jp/wordpress/>

時っ子学習発表会・PTA教育講演会を実施しました

校長 宮野 武史

11月23日（水）、日頃の学習の成果の発表の場である、時っ子学習発表会とPTA教育講演会を行いました。あいにくの雨天ではありましたが、たくさんの地域の方、ご家庭の方にご来校いただき、充実した半日となりました。

時っ子学習発表会では、地域の環境を守るために自分たちにできることを見つけようと、高時の地をフィールドとする学習を進め、文化遺産、生物の多様性を切り口に学んだことを発表しました。今回で3年目の発表会になりますが、年々発表に工夫が見られ、子どもたちの成長が感じられました。



PTA教育講演会は「親子で幸せをつかめ！～ラブラブ子育て～」の演題で、MOTTOひょうご事務局長栗木剛先生のお話を聞かせていただきました。「楽しくなければ講演会じゃない」をモットーにされているだけあって、思わず引き込まれる話術、お話の途中での交流タイムなど、終始和やかな雰囲気、あっという間の1時間でした。お話の内容の3本柱は、次のようなものでした。

○「早寝、早起き、朝ご飯」は人間の体、脳を科学的に捉えて、考えられた言葉です。

早寝：体の治癒力（成長ホルモン）は午後10時から午前2時に高まる。

早起き：脳がフル活動するには90分のアイドリングが必要。1時間目の授業の90分前には起きていないと、授業を頭がボーッとした状態で受けることになる。

朝ご飯：脳にガソリン（ブドウ糖）がないと、アイドリングをしてもエンストしてしまう。

○親子の上手な距離感について

思春期の子どもに対しては、親子の距離感を考えなくてははいけません。思春期になると子どもは自然と親との距離をあける（離れて行く）ものです。それなのに親が距離をつめればつめるほど、「来るな」とさらに離れていきます。それが普通の成長です。思春期の子どもは、荒れた海に船をこぎ出すようなもので、親としては心配だけど、岸から見守るのです。近所の我が子より2つ3つ年上の子どもの親の話は、最高の教育書です。

○子どもの自立のために親がすべきこと

自分の子が、将来こんなことしたいと思った時に、自分で家から出て行けるようにしておいてやらなければいけません。〇〇ができないから家から出られないでは、その子は本当にしたいことができません。子どもの夢をかなえてやれないこととなります。自力で生活できる能力を少しずつでも身につけさせないといけないのではないのでしょうか。





- 10日(火) 始業式、集団下校
- 11日(水) 避難訓練、給食開始
読み聞かせ放送
- 12日(木) 学校保健委員会 16:00～
- 13日(金) 3年歴史民俗博物館見学
- 16日(月) 委員会活動
- 17日(火) 学校運営協議会 19:00～
- 18日(水) 読み聞かせ放送
- 19日(木) 4・5・6年スキー教室
- 20日(金) 6年生保護者中学校入学説明会
PTA合同委員会 19:00～
- 23日(月) クラブ活動
- 30日(月) 委員会活動

※6年生児童の中学校体験入学は、今年も実施されず、昨年のように、中学校の先生が小学校に来られて中学校生活について説明して下さることになりました。楽しみにしておいてください。

★行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、内容の変更、延期、中止等になる場合があります。ご理解をお願いします。

<青少年育成市民のつどい>

11月20日(日)、長浜市青少年育成市民のつどいが浅井文化ホールで開催され、6年生児童7名が、「学己高山 私たちが受け継ぎ守るべきもの」のテーマで、本校の3年間の学習や、取り組みの様子を発表しました。大きなホールでの初めての発表でしたが、ステージが上がってライトを受けると、緊張した様子もなく、堂々とした態度で発表をすることができました。

閉会式においては、教育長様から、「私たちが生きる源となっている地球。今現在、それが悲鳴を上げています。ご存じのクレタさん。若干16歳でその活動を始めました。それがこの長浜の地、高時の小さな子たちも一緒になってこの環境問題に取り組んでいる。素晴らしいことだと思います。未来を守ろうとしている子どもたちがいます。

私たち大人も頑張らなければならぬと改めて思います。」と講評をいただきました。



<高時小学校人権週間>

【各学年ホットハート宣言】

- 1年：「たたいたり、けったりしません。悪口や意地悪はしません。ちゃんと注意します。困っている人を助けます。」
- 2・3年：「相手の気持ちを考えて、やさしい言葉を使いましょう。おはよう、ありがとう、ごめんなさいを忘れずに。」
- 4年：「ありがとう、ごめんなさいを忘れずに。たくさん笑おう。相手を尊重して。友だちの話をよく聞く。気持ちを考える。」
- 5年：「みんなが笑顔で過ごせる学校にします。いじめに気づき、見て見ぬふりはしません。」
- 6年：「一致団結 みんな仲良く、励まし合い、助け合える学校に。」

【瞬間ボランティア】のお願い

先日、防犯関係の会議に出席した時に、この言葉を初めて聞きました。瞬間ボランティアとは、団体や組織に所属していなくても、困っている人を見かけたり、何か怪しいかな?と感じたら、躊躇なく、声かけをしたり、手助けをする活動です。

犯罪者は、犯行現場の500m先から場所探しをし、200m先で犯行地を決め、20m先で標的を決め、9m先で行動を決定し、6m先で行動を開始すると言われていいます(犯罪者の行動距離)。冬になると、屋外で作業や活動をされている人がほとんどおられなくなり、冬休みに屋外で遊ぶ子どもたちは無防備な状態になってしまいます。この人何か変だなと感じられたら「どうされましたか」と一声かけることが犯罪を防ぐことにつながります。この時、相手に近づきすぎでは危険です。4m離れて声かけをすると安心で、少なくとも相手の身長分は離れた方がいいそうです。子どもたちには、20m(プールより少し短い)の感覚を身につけさせたいですね。

地域の皆様、瞬間ボランティアをよろしくお願いします。

後になりましたが、毎日、子どもたちの登下校を見守ってくださるスクールガードの皆様、1年間ありがとうございました。引き続き、令和5年もよろしくお願いします。

